

1.「通所型(デイサービス)」の実施について

説明:「訪問型」については類似した事業や民間のサービスが存在するが、「通所型」は類似した支援がないので、「通所型」の実施を優先することにした。

質問1:「通所型」を優先に実施することについてご意見はありますか。

①賛成 10名 ②意見なし 4名

質問1についての意見

- ・需要が見込めているなら、通所型優先で良いのではないか。
- ・産後まもない赤ちゃんとお母さんは思うように外出できないため、訪問型の方が助かるのではないか。
- ・対象者のニーズにあわせて選択肢があった方が良い。
- ・通所型のニーズはどれくらいあるのか。
- ・通所型は送迎も含めての助成か。場所は優先されるのか。PRや啓発の仕方は。
- ・コロナ禍を鑑みると、通所型が可能な施設があるならぜひ受託を。市の家事援助は育児に関する援助不可のため不十分。高額な社会資源もあり利用できない母もいる。
- ・該当者はだれでも利用可能と広く周知することが大切。また、船橋市は広いので、最低3拠点を考え、利用しやすい体制にすることが必要。小規模でも助産師が対応し、必要に応じてその施設から、その他の専門家とオンラインで滞在中に繋がることできれば安心感が得られるのでは。

2.「通所型(デイサービス)」の対象について

説明:母子保健法第17条の2(産後ケア)及び産後ケア事業ガイドラインでは、産後ケア事業の対象を「出産後1年を経過しない女子及び乳児」としている。

「通所型」の事業の委託先として、産婦人科医療機関及び助産院を考えているが、乳児の月齢が大きいと、乳児用のベッドのサイズや活動範囲の広さ、対応するスタッフが複数必要になると思われる。

質問2:対象を「出産後4か月未満の母子」とすることについてご意見はありますか。

①賛成 8名 ②4ヵ月以降 1名 ③6～8ヵ月未満 1名 ④1歳未満 1名 ⑤意見無 3名

質問2についての意見

- ・原則として4か月未満としつつも、低体重児等を含め、必要な母子が利用できるよう柔軟な対応が必要では
- ・医療機関の受入体制を考慮すると、乳児の月齢が大きくなると離乳食等の提供も検討する必要があるため、延長しても6か月未満までが限度では
- ・4か月以降も児の成長に伴い、離乳食も始まり、ママのスケジュール時間が小刻みになり、疲れや相談したいことが多くなるのではないか
- ・支援を継続するためには、1年未満が適当

3. 「通所型(デイサービス)の内容について

説明:「通所型」の利用については、「宿泊型を利用するのは難しいけれど、蓄積している心身の疲労を軽減させたい(レスパイト)」方にも利用していただきたいと思っています。

そのため、施設滞在時間は 7 時間程度、母に対する昼食の提供、必要時に昼寝もできる環境、助産師による授乳・育児状況の把握と相談は必須と考えています。

質問3:「通所型」のサービス内容として、必要と思われる支援内容はありますか。

- ・必須項目の充実(乳房ケア・保健指導・心理的ケア・カウンセリング・療養・育児指導等)
- ・他のママとの交流の時間(場)があると良い
- ・荷物が最小限で利用できるよう配慮
- ・兄弟と一緒に利用や送迎
- ・親子のファッション、子どもと楽しめる娯楽

4. 「通所型(デイサービス)の自己負担金について

説明:「宿泊型」と同様に、利用料金の自己負担は 1 割程度と考えています。

質問4:上記「3」の内容を実施するとして、利用者はどの程度の金額までなら支払いが可能と思われますか。

- ① 2,000 円以下 2名 ②3,000 円以下 8名 ③4,000 円以下 1名
- ④その他 3名(・低価格が良い・ワンコイン位が良い・利用者の意見と必要経費が重要)

質問4についての意見

- ・食事の内容にもよるが昼食代も含めての値段設定。
- ・住民税非課税世帯や生活保護世帯の負担に応じての値段設定が必要
- ・兄弟も利用する場合は+300 円~500 円加算が必要
- ・安価な方が利用しやすいがコスト的かどうか。昼食代も含めて 3000 円以下が適当では

5. その他 質問5:何かご意見がございましたらご記入をお願いします。

- ・開始にあたってPDCAサイクルを実施できるよう指標と標値を定めておくが良い。
- ・市や民間が実施するサービスなどをうまく利用してもらえる案内工夫を。
- ・通所型、訪問型ともに始まれば、より多くの母子が利用でき、子育てしやすい街という印象も強くなると思う。感染症流行により、今までどおりにいかないことが多くなっているが、これを良い機会として新しい仕組みづくりをしてほしい。
- ・子育ての情報はネットで入手できるが人との関わりが大事。ママ友に馴染めない人もいるので、メニューは個々に合ったものを考えてあげてほしい。2 組合同がちょうどいいと思う。
- ・ホームスタートしゅっぱぽは希望する未就学児のいる家庭を無料で訪問しているが、コロナ終息後、令和 4 年度に産前産後支援事業の追加計画を検討。養成講座受講後の先輩ママが妊婦の不安な気持ちに寄り添い、専門家につなぐことで、産後うつ予防一助になると良いと思っている。